

堂谷津の里 自然だより

2017年 1月



2017. 1. 3

朝晩の冷え込みは厳しいものの日中は真冬であることを忘れるくらいほんわか暖かい堂谷津の里です。田んぼは水が張られ、アカガエルの産卵を待つ準備も整いました。アオサギがゆっくり降りてきて餌を啄み、代わりにセグロセキレイが2羽ジィ、ジィと鳴いて飛び立ちました。静かな新年の幕開けです。



オオムラサキの幼虫 かわいい顔してる？



モズのはやにえ



モズ



黒と白 粹なセグロセキレイ 田舎紳士？ツグミ



ようやく姿をみせたアオジ 我が物顔のアオサギ



オオカマキリ卵鞘



ナナホシテントウ



枝？ホソミオツネトンボ



オオイヌノフグリ



タネツケバナ



霜が降りた葉-

＜季節メモ＞
 地面に放射状に葉を広げ、平らになっている葉を「ロゼット」といいます。よく見ると葉の形が違い、それぞれ違う種です。どれも太陽をいっぱい受け、地面にへばりついて冷たい風から身を守りながら春を待っています。暖かくなったころ、茎を伸ばして花を咲かせ春を彩ってくれます。
 写真・編集：晝間